

【弁護士日記】

親父の茶碗は洗って

もなぜ汚ないのか？

美和 勇夫

私は、家でごはんを食べる時はいつも「オワン」でいただきます。みそ汁もオワンです。

「私、家でごはんを食べる時はいつも「オワン」でいただきます。みそ汁もオワンです。」

なぜかと言うと、食器カゴに入れてある茶碗の中から適当なものを取り出してごはんをつくと、

「なぜかと言うと、食器カゴに入れてある茶碗の中から適当なものを取り出してごはんをつくと、

まず「それはおじいちゃんのお茶碗だ」というクレームがつく。他のものにとりかえると「それは○○子の茶碗だ、ゆるな区別はない。」

まず「それはおじいちゃんのお茶碗だ」というクレームがつく。他のものにとりかえると「それは○○子の茶碗だ、ゆるな区別はない。」

☆☆☆☆

洗ったチンチンよりも、

ところかみそ汁用のオ

ワンは区別がない。カレ

ーライスを食うときのサ

ラにも各自「所有権」は

ない。

スプーンには所有権が

ないがハシにはある。同

じ家族でも、親子でも、

いくらキレイに洗っても

「他人のハシ」はキタナ

イと感ずる。(キーセンパ

ーティのようにはいかな

い)スプーンやサラ、ド

ンブリがきれいで、なぜ

「茶碗」や「ハシ」は

いくら熱湯消毒をしても

日本人の感覚は他人のも

のをきたないと感じるの

であらうか。

タペおふろできれいに

ナサ「差別」の発想感覚

☆☆☆☆

洗ったチンチンよりも、

ところかみそ汁用のオ

ワンは区別がない。カレ

ーライスを食うときのサ

ラにも各自「所有権」は

☆☆☆☆

が日本人のイヤラシサ、

固定観念(きめこみ)と

いうものであらう。

☆☆☆☆

娘が、きれいに洗った

親父の茶碗に「きたな

さ」「けがれ」を感じて

その茶碗でメシは食わ

ないなどという考え方が

なぜ日本国においてのみ

まかり通るのか。(そんな

ものより、たとえば、他

人の車のハンドルやおさ

つの方が雑菌まるけで汚

いにきまっておる)

こういった(これと類

似した)アホらしい感覚

が社会常識あるいは固定

観念(考えかた)として、

日本の結婚式、葬式、○

〇〇会の集う、社会の考

試験の成績(ペーパーテ

☆☆☆☆

え方、たてまえなどの根

本にまかり通っている。

☆☆☆☆

同じ人間でありながら

警察とか税務署とかのエ

☆☆☆☆

30そこいらの青二才を、

警察とか税務署とかのエ

ラサマの席につけるか。

二度も犯人を逮捕したこ

とも、パトカーを運転し

たこともない人間を警察

の署長にしまくもな捜査

の指導が出来るのか?)

☆☆☆☆

私も所属している社会

への「奉仕団体」ロータ

リークラブで作りたる一

首、ボーフラが人を刺す

よな蚊になるまでは、ホ

ーシ・ホーシの余裕もあ

らず。泥水飲み飲み浮き

つ沈みつ

(筆者は多治見市弁天町

在住。)